

新型コロナウイルス感染防止に係る対応について

新型コロナウイルス感染症は発生から時間がたった今でも、完全な終息が見通せない状況であり、本大会における感染の拡大を防ぐため以下のような措置をとります。

1. 大会会場について

- ・会場に入る人数を太宰府市総合体育館（とびうめアリーナ）が定める収容人数（アリーナ 200 名、観覧席 300 名）以内にする。
- ・ドアやトイレなど、多くの人が手を触れる場所の近くに石けんや消毒液を設置する。
- ・常に換気が行われた状態で大会を行う。
- ・準備や片付けの際、消毒などを行い、後の体育館の利用者への感染拡大を防止する。

2. 大会運営、試合形式に関して

- ・日本卓球協会が出しているガイドラインを参考に、以下の感染防止対策を行う。
 - ①参加者全員へ感染防止対策を周知し、参加の同意をとる。
 - ②開会式は行わず、閉会式も表彰のみ行う。
 - ③試合前のラケット交換や、ゲームごとのチェンジエンドは行わない。
 - ④試合終了後の握手は行わず、礼も声を出さずに行う。
- ・試合会場への入場者数の上限の都合上、各校の参加者（顧問やコーチ、管理職、応援者などを含む）の人数を制限する。
- ・各校教員により、定期的に会場の共有部分の消毒をおこなう。

3. 参加者（選手・顧問・監督・コーチ・応援者・観戦予定者など）全員に求めること

- ・参加同意書を各校の顧問に提出する
- ・体調確認表の作成を行う。事前に氏名等を記入し、大会当日に体温と健康状態を記録する。体調確認表は感染者が出た場合、参加者への連絡や行政機関による調査への協力に用いる。確認表は専門部長が2か月間保管した後、シュレッダーで処分する。
- ・大会の2週間前から体調記録表を作成する。
- ・当日、発熱などの自覚症状のある者は参加できない。
- ・マスクの着用、咳エチケットを守ること、飲み物を回し飲みしないことなど、飛沫感染を防ぐ対策を各自行う。
- ・ハンカチやタオルを持参し、手洗い後は必ず自分のハンカチやタオルで手を拭く
- ・大声での声援を行わず、応援は拍手のみとする。

- ・大会終了後の懇親会などの集まりは禁止する。
- ・大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、すみやかに学校を通して筑紫区中体連に報告が行くようにする。

4. 選手に求めること

- ・試合の前後で手指の消毒を行う。
- ・試合で使う道具は自分で用意する。ラケットやタオルなどの貸し借りをしない。
- ・卓球を行っている間はマスクを外しても良いが、卓球を行っていない際は必ずマスクを着用する。卓球を行っているときでも、会話が必要なときはマスクを着用する。
- ・試合中に大声を出したり、チームメイトとハイタッチをしたりしない。
- ・試合中に手汗を台で拭かない。その代わりに、得点ごとにタオルを使って手汗を拭くことを認める。

5. 顧問・監督に求めること

- ・各校において、会場を訪れる可能性のある者全員に感染防止対策について周知の上、参加の同意を取り、体調確認表および体調記録表を作成する。
- ・試合当日の朝に参加者の体温および体調を確認し、体調確認表に記入の上、専門部長に提出する。朝に確認が取れない場合は、会場に到着した段階で確認を取り、体調確認表に記入する。
- ・体調確認表に記入されていない者は、体育館に入場できない旨を関係者に周知する。ただし、アルバム用写真撮影のカメラマンについては、受付にて撮影する学校、体調等を確認後、入場許可証を渡す。
- ・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルスに感染した参加者が出たと発覚した場合、すみやかに自校の教頭に報告し、理事長および専門部長へ連絡が行くようにする。

以上の内容にない項目でも、筑紫区中学校体育連盟の出す「筑紫区中学校新人体育大会開催にあたっての感染拡大防止ガイドライン」に従って、各校・各自で感染予防や、万が一感染した場合の感染拡大予防につとめてください。